



子どもロケット体験教室へ 参加してきました

友人を通じて、滋賀県にある
NPO法人くさつ未来プロジェクトさん
が開催されてる教室へ参加してきました。
感想は「すごく楽しかった！！」
子どもよりも親が夢中になりそうです（笑）



何をしたかという、子どもが1からロケットを組み立てて作っていくんです！

ロケット開発者の植松 努さんという方のビデオを観て、なぜ子どもたちにロケットを通じて、夢や希望を追いかけることが大切か気づかせてもらえます。

ビデオを観終わるとさっそく、ロケットを作り始めます。ロケットを作るためのキットは用意されてるので、最初から自分で組み立てていきます。僕が途中で手伝うと「触らんといて！」って怒られます（笑）今までこんな真剣な娘の顔をみたこともないです。新しい発見があった一日！！ロケットの組み立てが完成すると火薬を装着し、いざ発射へー！！

そして発射の瞬間はドキドキです。
空高く30m程打ちあがった
ロケットはパラシュートが
開き、ヒラヒラと落下。
それを追いかける子どもたち。
いい思い出のイベントと
なりました。



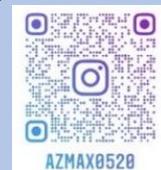
東 勇紀 (あずま ゆうき)

携帯電話 090-6908-1769
メールアドレス azumaazuma0520@gmail.com

住所 滋賀県大津市仰木の里東7丁目21-7

「まっくす通心」は東に関わりのある方や、ご縁のあった方に不定期でお送り、
またはお渡ししています。送付を希望されない方は、その旨お申し出ください。

感想をいただくと
すごく嬉しいです！！



LINE



Facebook

藤原 ひろのぶさんの お話会へ参加してきました

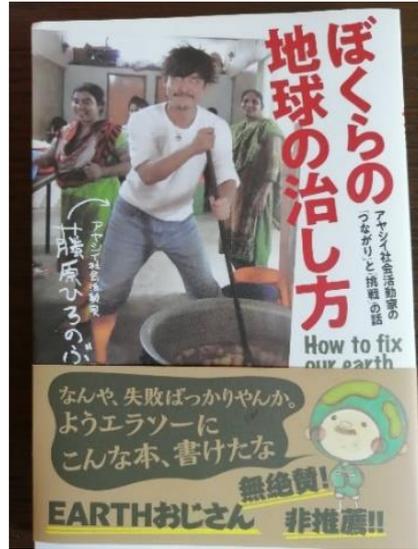
7月に神戸で開催されたお話会へ行ってきました。僕はこの人の存在を知人に教えてもらうまで知りませんでした。

「藤原ひろのぶさん
プロフィール」



バン格拉ディッシュ・スラムで食料支援を行う社会活動家・藤原ひろのぶさんのお話を聴きに行ってきました。藤原さんは世界中の現実を知り、実際の貧しいスラム街を見て、ぼくたちはそれぞれ何をできるのか考え、問題を傍観するよりも、問題を解決しようとする方がカッコいいと、小さなことからでも行動を始め、次の世代を担う子どもたちに、そんな背中を見せていきたいと語っておられました。

実際にお話を聞いて感じたのが、今の自分の生活ができているのが、全部地球と繋がっているからこそ、私たちが当たり前で生活ができているということ。（私たちの生活ができている裏には過酷な環境で働いている人、子供7がいる）環境問題の問題の講演かと思ったらそうではなく、世界で起きている貧困の状況や余った食料廃棄、地球の限られた資源について、当たり前のように



消費している。当たり前になりすぎて、実は自分の思考も停止してしまっている事を感じさせられました。

目に見えているもの、メディアの情報だけを信じてしまうのは、よくないなと感じました。今の自分の生き方や思考を変えるきっかけになったので、

自分なりにコツコツやっていきたいと思います。

お念仏とセルフケアで心とからだを緩める場～寺娘屋～へ行ってきました



浄慶寺 facebook



中島 千晴さん
facebook



中島さんはお寺に来られた方の、体の不調や悩みを聞きながら自分自身で健康を保つセルフケアの指導をする教室を開いています。

この本堂で行うことで精神的にも落ち着くことができます。そして、この浄慶寺が近隣の方にとって、憩いの場になってほしいと活動されています。

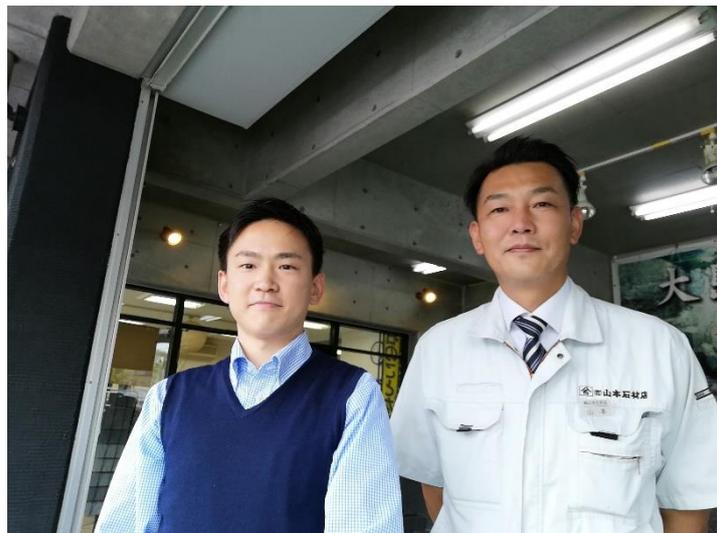
小野山 浄慶寺坊守の中島 千晴さん

毎月第4水曜日に浄慶寺にて女性のための心とからだを緩める会「寺娘屋」（てらこや）を開催されています。理学療法士の資格も有する中島さんはお寺の役もしながら、子育て世代のママや日々忙しい女性の為に寄り添いたいと思い活動されています。僕も実際にセルフケアを体験しました。短時間でも体の歪みや、リラックスができました。何よりも現状の体の悪いところが知れるのは良いことです。（普段生活しているとこれが普通だと思って気づかないですからね）



今月のインタビューは 「有限会社山本石材店」 代表取締役 山本 恭義さん

あずまっくすがお世話になっている方やご縁のあった方のお仕事をインタビューさせていただくコーナーです。今回インタビューさせていただくのは、創業明治35年のお墓・墓地の山本石材店様です。



お墓はいつ準備したらいいの？ どうやってお墓を選ぶの？ など僕自身わからない事が多く、皆さんにお役にたつ情報が発信できればと思い、今回インタビューさせてもらってもいいですか？ と聞いたところ、山本社長が快くOKを出してくださいました。

山本社長は4代目。山本社長より、会社の歴史、お墓について、お聴きさせていただきました。

あずまっくす：この仕事を始める

きっかけはいつでしたか？

山本社長：継ぐという意識は親父の背中をみていたので、なんとなく感じていました。中学生の頃などは夏休みにお手伝いについて草刈りや土入れもしていた。

高校を出てすぐに他の石屋さんへ修行に行きました。愛知県岡崎市に今でいう職業訓練校みたいなのがあって、そこに石材課というのがあり、今から約27年程前に住み込みで通った。親方のところへ弟子入りさせてもらい、住み込みで4年間お世話になり、昼間は親方のところで職人として働いて、夜は学校へ3年間通いました。

「作る」というのが好きだ。と語る山本社長。

どの様に学ばれましたか？

山本社長：男だらけで、辛い、汚い、しんどい。プレハブ小屋みたいところで4年間生活しました。住み込みで入ったもの順で1～4年生みないな感じで、当時は6人くらいで生活しました。仕事は親方の見よう見真似で覚えた。修行先では石を買い付けて、原石を加工していき、形を整えていきました。22歳まで加工の技術を学び、そして実家へ戻りました。

(インタビューさせていただきました、雄琴支店)



あずまっくす：実家へ帰って来られてから

どんな事に取り組まれましたか？

山本社長：僕は作るのが好きだったので、実家に戻ると、加工ものの仕事はほとんどなかったので仕事の合間で色んなもの作った。

京都の実家に帰ってきてから石材組合の青年会に入り、色んな出合いやきっかけをもらったのもこの時期です。

京石工芸品は京都の伝統産業の一つになります。京都の伝統産業には人形、織物、木工、京仏壇など京都の伝統産業に携わる方とも一緒に連携し、伝統産業のPR活動にも励みました。

あずまっくす：社長は職人さんとして

何歳までされてましたか？

山本社長：職人は30歳の手前までやり、そこからは経営に携わった。30歳の時にこの、雄琴支店ができたんですね。現在はここで家族と生活しています。

あずまつくす：石には種類があるんでしょうか？

山本社長：石には天然ものしかなく、産地により硬さや、柔らかさ、石にもねばりがある。技術者がいないとそういったものがわからないけれども、石にも等級があるんですね。世界にもたくさんの石の種類があって中国、アメリカ、ヨーロッパなどにもあります。

石の等級の見極めは職人さんの経験がないと難しく、すぐにわかるものではないんです。なのでお客様にはイメージしてもらいやすいように実物を多数展示しています。お施主さんの要望で、国産や外国産で準備したいという要望がある為、そういった要望にお応えできるようにしています。今の時代、安い＝粗悪品でもない。石には鉄分やいろんなものが入っていて、比べてみると不純物が少なかったりします。石は変色するし、変色しない石は無いんですね。

あずまつくす：お墓を作る上でルールはありますか？

山本社長：カタチにルールはなく、僕がいつも言うてるのが、お墓はお家のシンボルになってくる。家つてものは引き継いでいったり、お墓は感謝する場所なんですね。家のシンボルなんです。一番のパワースポットはお墓参り。やはり、先祖に感謝すること。僕らの世界は好きだの嫌いだの言えるけど、亡くなってしまうと言えない。亡くなられた方に対して何もしてあげることができないので、お墓は唯一それがしてあげられる場所になる。お施主さんが拜んで初めてお墓になる。お墓と思うとすごく難しいように感じられるけど、基本はお墓参りするだけのことなんですね。



あずまつくす：お店に墓石が多数展示を

されていますが、なぜでしょうか？

山本社長：各店舗（5店舗）お墓を30本以上展示するようにしている。値段をしっかりと明記して決めてもらえるようにしています。自社で一貫してやっているし、工場もあります。うちでは営業担当がしっかり納めるまで担当します。

お墓を購入いただいたら、永いお付き合いになるものなので、お売りしてからのお付き合いを考えています。

相談される際に国産と国外の石を相談されることもある。やっぱり国産だと息子さんやお孫さんの代に後々喜ばれる方が多いです。

それが息子様、お孫様の代まで続くものだから、お客様にとって価値のあるものを提供したいし、想いのこめられるものにしたらどうか？というアドバイスを心掛けています。

あずまつくす：お墓は何の為に

あるんでしょうかでしょうか？

山本社長：自分もお墓参りにいくけど、僕はひいおじいちゃんなんて知らないし、けれども感謝しています。お墓があることで、お掃除がしてあげられる。手で触れて水垢をとったり、雑草を掃除したり。僕ら生きる人が先祖に対して唯一してあげられること。今は何でも簡単に簡単につけて略す形になってるけど、してあげられることは一番の幸せになってくるんですね。何もしないのが楽ではないんです。色んな埋葬、法要の仕方があるけど、何か印を遺してあげるのがお墓としてベストかと思う。お墓に触れること、お花を添えてあげたり、掃除をしてあげられる操作が一番の幸せ。お墓建てることで感謝することに繋がるし、シンボル、パワースポットにもなります。



(山本社長が自ら製作された石の三輪車【動きます】
組合のイベントで展示されたり、NHKやテレビ番組
でも多数の取材に出演されています)

あずまつくす：墓じまいという言葉も聞きますが
どのように思われますか？

山本社長：最近ではマスコミで墓じまいなんて聞くけど、
ごく一部でなんです。あたかもそれが正解という風
に伝えてしまうメディアもあるけど、シーズンになっ
てくると、特集で皆興味をもちます。

親御さんがお墓の購入の時に相談されるのが、「息
子なんてお墓に興味ないので、夫婦だけのお墓でい
い」というが、息子さんが興味ないのは当たり前。40、
50歳よりも、60歳の方がお墓に意識をもつ方が多
い。

墓じまいする親御さんは息子さんが興味ないし、と
思って墓じまいする相談がある。

お子さまがいるところはやはり2代目、3代目を入れ
るように考えておくことが大切になります。普段話す
機会がないからこそ、非常に大切なこと。

墓地の年間の管理料は公営墓地、民営墓地など場所
にもよりますが、年間数千円程度。

家族のシンボルができるからいいものやと思う。お墓
を大きな木で例えると、ご先祖さんは根本。今生きて
おられる大將は木(幹)の部分。こどもは枝。
ご先祖様をちゃんと祭っておかないと、根が腐るから、
根が腐るのは幹も腐る。花も咲かない。ご先祖様を大
切にしたら、太くなり、花も咲く。やはり感謝したり、
色んな事件が多いこの世の中、感謝することを忘れたら、
こういうのも多くなるんじゃないかと思う。

僕が心がけて子供に見せている姿勢は、お墓を大切
にすることはいつかは死ぬんやでとか、お墓の教育で
はないけど。自然とお父さんの背中をみていると、優
しい子にもなるだろうと思ってやっている。
仏教ができる前からお墓というものがあり、誰かが死
んだ時に印として残してあげようとしたのがお墓。昔
から木、石などには神様が宿るとされている。
お墓は自然のものでつくるんですね。人間はやはり形
あるものを求めてきたんです。それを無くしてしま
うとどこに手を合わせたらいいか。お墓に拝む対象物
があるのは、大小関係なく必要なんです。

あずまつくす：最近のお墓は色んな
デザインがありますね

山本社長：デザイン墓もあり、えんとつ町のプペルや
リメンバーミーを題にしたお墓もある。デザインも自
由になってきた。お墓にも「和風」「洋風」型があり、
ここのお客様も皆さん、オーダーでデザインを調整す
ることができる。フルオーダーもできるし、別途費用
をもらっている訳ではない。お客さんと一緒に絵を
掘ったりすることもあります。今はお墓の装飾品とし
て野球のバットやバイクを石で飾る方もいらっしゃる。



あずまっくす：お墓を建てる上で大切なことは？

山本社長：宗派によりこれが本式ですよなど説明はします。彫り方も宗派により異なるのでこれがベストですよなどアドバイスさせてもらってます。

お墓を準備する上で、宗教とお墓は少し違って、お寺に聞くとお寺さんの建て方があるし、お墓つてのは家系図で決まってくるから、そこはきちっと家族ごとにヒヤリングさせてもらって、例えば宗派が違う場合は、それを「～家」（例えば東家の墓）ってしてあげることによって、家系で宗派が違ってても悩みや問題を解決してあげることできる。石屋さんはそれぞれのお家の悩みを聴いてあげることが大切。

家族構成、希望や悩みを聞いてあげること、その人にあったものが出てくる。それをしないとただの物売りになってしまうんですね。

緊急性はないけど。お父さんがお墓を準備することで、息子さんは喜んでくださります。

墓を作りやがってと思うようなお客さんは一軒もない。息子さんがやっといってくれてよかったという。生前にお墓を考える人は将来を真剣に考えておられる。先に考えることによって親族に迷惑かけることなく、自身の仕事も一つなくなる。いつかやらないといけないうちより早くから考えて準備することで、いきいきと過ごされてる方も多い。お墓を準備することで死に入る場所でもあるが、安心はされる。「いつでも死ににいけるなと（笑）」と言われる方も。

お墓を後で準備するメリットは少ない、しかし、お墓の管理をされるご子息さんが転勤族であるなどの場合は準備する場所もよく検討した方がいいですね。

7対3くらいの比率で生前に建てる人が多い。お父さんはどういう葬儀をしておいてほしいかだけでも相談しておいた方がいいかもしれません。

宗教によっても、お墓をお寺で買いますか？霊園で買いますか？民間の墓地で買いますか？色んな状況がある。

石屋さんに相談することでお家のごとの悩みであったり、どこの墓地で建てた方がいいとかアドバイスができる。

あずまっくす：このお仕事を通じて嬉しかった

ことははどんなことですか？

山本社長：嬉しかったことは、お墓をお誂えしたことによって、感謝を伝えてくださったり、喜んでくれる。悲しみの中、よかったとほっとしていただけることでこちらも安心します。

生前の方の想いを形にできることはすごく嬉しいし、そのお家がずっとこれからも拝んでもらえるのはうれしいこと。いつかは墓じまいすることもあるかもしれないが、お家のシンボルとして使っていただければうれしく、誇らしい仕事だと僕は感じています。

あずまっくす：山本社長の今後の夢を教えてください

山本社長：今後の夢、やっていきたいことは、地域貢献、子どもの石フェスタ、石を叩いてもらったりとか、今は子の代のお墓を継がせていただいて、これからもお客様を大切にしていくことをブレない様にしていくこと。

僕はこのお店を先代から継がせていただいて、言葉には残ってないけど、今までそのように大切にされてきたんだと感じています。

長く続ける地域貢献をしていきたいと思っています。石を通してね。内でたててよかったと思ってもらうこと。



～社員さんが発行されている通信～
(山石 かわら版)
お墓に関するQ&Aや墓地の土地情報など役立つ情報がわかりやすく掲載されています。

□本店



〒607-8411

京都市山科区御陵大津畑町53（京都薬大東隣）

TEL075-581-1915

FAX075-581-7600

定休日 毎月曜日



Facebook



ホームページ

□墓石センター（勸修寺店・工場）

京都市山科区勸修寺瀬戸河原町1

□大津店

滋賀県大津市湖城が丘2-1（国道膳所）

□雄琴店

滋賀県大津市雄琴北2-27-12

□岐阜店

岐阜県則松1丁目28-1

お墓の
ことなら
山本石材店
さんへ



あずまつくす：今回インタビューさせていただき、

感じたことは

1.山本石材店さんはお墓の設計や施工だけでなく、
家族の想いを聴いてお墓を誂えてもらえること。
そして家のシンボルを形に残してくださる仕事。

2.石材店さんへ相談することで、お墓を建てる場所
（霊園、公営、民間の墓地）の相談にのってもらうこ
とができ、家族にとって最適なお墓の準備の仕方にア
ドバイスもらえる。

お墓のことを考えることは、どんな将来にしたい
か？これからどの様に生きたか考えるきっかけにもな
るし、家族の事を考えるきっかけにもなります。

そしてお墓とは、家族のパワースポットでもあり、
ご先祖様を想う感謝できる場所であるということ。
を教えてくださいました。

今月のお盆休みにはお墓をしっかりお手入れし、
ご先祖様に感謝を伝えにいきます。

取材にご協力いただきました山本石材店様、
ありがとうございました。



お仕事インタビューバックナンバー

あずまっくすがお世話になっている方や、こんなお仕事あるよー！みなさんに知ってほしい！！
と思った方のお仕事をインタビューさせていただいています。
フェイスブックやインスタグラムにも載せています。



「お料理 魚政」
今井 隆充さん



「整体サロン ことれ」
秋山 孝文さん



「ジョーシン
キッズランド」
大林 達也さん



「鍋・居酒屋なっちゃん」
なっちゃん・あっちゃん



(号外)
「脳梗塞を体験して」
植村 輝義さん



「お墓・墓地の山本石材店」
山本 恭義さん



「浄慶寺 セルフケア」
中島 千晴さん

